

基本方針 (3)		地域の持続的な発展を支える、 組織・経営基盤の確立・強化	
重点方針		実践方策	総括
1	「食」「農」「協同組合」への理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な広報戦略による情報発信を強化し、「食」と「農」を中心とした総合事業及び協同活動のPRに努めます。 ○農業の応援団としての准組合員に向け、地域コミュニティ誌やメディアを活用した情報発信に取り組みます。 ○自己改革の着実な実践と、取り組み状況の共有により農業及び協同組合の役割について理解の促進を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織活動における食農教育など、「食」と「農」に関する取り組みについて、ホームページ・広報誌・農業新聞・地域コミュニティ誌を通じて情報発信を行いました。 ○自己改革の取り組みをホームページ・広報誌等に掲載して情報共有を図りました。
2	地域に根ざした協同組合運動者としての人づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○組合員のための学びの場づくりを通じて、地域のリーダーとなりうる協同組合運動者を創造します。 ○「人間力溢れる人材の創造」に向けた育成体制の構築を図ります。 ○中長期的な視野に立った計画的な研修参加や資格取得を促進し、組織・地域の持続的な発展を支える職務能力の向上を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組合員組織やJA女子大学等を通じて、引き続き、仲間づくり・学びの場の提供に取り組みました。 ○広報誌の活用や女性部活動を通じ、SDGsについての情報提供に取り組みました。 ○従業員の各階層に求められる能力に対する研修を実施しました。また、各課でWebセミナーの受講を実施しました。
3	将来を踏まえた経営基盤の確立	<ul style="list-style-type: none"> ○不良債権の低減や事業管理費の削減等、長期的な収益確保が可能な事業運営及び施設のあり方について検討し、健康的な経営基盤の確立に向けた整備を進めます。 ○将来を見据えた経営リスク管理を強化し、設備投資及び事業伸張による利益確保と合わせた財務基盤の強化を図ります。 ○災害等の緊急時への対応力強化に向け、事業継続管理(BCM)の実践に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○組合員の豊かな暮らしを持続的に守り抜いて行くための創造的自己改革の実践として、各部門と収支改善の取り組みについて検討を行いました。将来めざす姿の実現に向けて「持続可能な経営基盤の確立・強化」について地区別説明会を実施しました。 ○不良債権比率は問題のない結果となりました。初期段階での延滞解消に努め、健全な経営基盤の確立に向けた整備を進めました。 ○携帯電話の使用状況の確認、固定電話の契約内容の見直しを行い、事業管理費の削減に取り組みました。 ○災害等での緊急時の連絡体制構築に向け、安否確認のテストメール配信を行いました。小規模多機能型居宅介護事業所において、地域の連携拠点として、施設長を中心に災害等に備えた避難訓練を実施しました。
4	内部統制・コンプライアンス態勢の確立・強化	<ul style="list-style-type: none"> ○内部管理態勢の充実・強化を図り、会計監査人監査に対応できる内部統制の整備及び運用を実施します。 ○関連法規への対応を含めた衛生管理の徹底を図るとともに、コンプライアンスの態勢強化及び徹底により信頼を確保します。 ○働き方改革への対応を含めた、効率的で適正な労務管理体制の構築を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ○監事、会計監査人との連携及び内部監査を通じて、内部統制整備の進捗状況及び運用について検証しました。1次査定部署と内部統制整備についての意思統一を図り、運用を実施しました。 ○コンプライアンス担当部署による事業所巡回を10日間実施しました。不祥事件について事業所長の意見を聞き取り、再発防止策を策定しました。 ○情報セキュリティ体制の強化に取り組みました。 ○株式会社ジェイエイ越智今治では、働き方改革への対応を含めた労働時間短縮に継続して取り組み、勤務シフトの見直し、超過勤務の削減を行いました。また、各事業所管理者へ労務管理状況の聞き取りを行い、店舗巡回時に衛生管理・食品表示についてもチェックしました。